

“やっちゃえ” 鳴高！ ～保護者の皆さまへ校長メッセージ～

鳴尾 高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

10月号

「得意を伸ばす」探究的な活動強化へ

今回のテーマは 2025 年9月5日付
毎日新聞(デジタル版) の見出しです。

同じテーマを「D.A.F.鳴高！」でも取り上げていますので、合わせてご覧ください！

▶5月号

▶7月号

▶9月号

もしお子様から、自分の夢、やりたいこと、得意なことが分からないと相談されたら『土ドラ 浅草ラスポスおばあちゃん#4』の松子さんの言葉を借りて、背中を押してあげてください。

「あんたがやりたいことは、あんたしか分からないんだよ」「夢ってものは叶えるもんじゃなくて、夢中になることなんだ。」

【鳴高トピックス】 ※詳しくは鳴高HPで back number

☑ 鳴高音楽祭 (R7.9.14 日)

地域や保護者の皆さまが大勢お越しくださり、鳴高が誇る音楽系4部活動(箏曲部、ストリング・オーケストラ部、吹奏楽部、軽音楽部)がこの日のために練習を重ねた成果を遺憾なく発揮して、会場は手拍子や掛け合いで大盛況♪

☑ ビブリオバトル

(R7.9.18 木)

1年 山本さん「5秒後に意外な結末」が1位に選ばれ、県大会に出場します♪

Future

□ 体育大会 (R7.10.3 金)

□ 中間考査 (R7.10.14 火～17 金)

中間考査予備日 (R7.10.20 月)

「得意を伸ばす」と言えば、校長がこの夏“夢中”になったドラマを2本紹介します。

「あんぱん」(NHK 連続テレビ小説) は、アンパンマンの作者・やなせたかし(高)さんと妻・小松暢(のぶ)さんをモデルに、昭和の激動の時代に生きた二人の愛と挑戦を描くオリジナルストーリーです。高知の新聞社で出会ったのぶと高が、共に東京へ出て貧しいながらも楽しい生活を送る中で、のぶの明るさと勇気が高を励まし、最終的に「アンパンマン」が誕生するまでが描かれています。中でも、作中に登場するやなせたかしさんの詩(言葉)に心打たれました。

「舟を編む ～私、辞書つくります～」(NHK 総合) は、大人気ファッション誌の編集部員だった岸辺みどりが、雑誌の廃刊が決まり、突如異動になった先の辞書編集部で、ぼさぼさ頭で超がつくほどの生真面目上司・馬締光也を筆頭にくせ者ぞろいの辞書編集部員達と出会い、一冊の辞書を作るために十数年間に及ぶ時間と手間をかける根気と熱意に触発されながら、次第に自らも言葉の魅力を発見、辞書編さんの仕事にのめり込んでいきます。辞書「大渡海」を完成させるまでの辞書編集部員達との奮闘物語にのめり込み、その中に出てくる言葉とその意味にはまり込みました。

そのどちらにも共通して登場する言葉が『血潮(ちしお)』です。『血潮』には、文字通りの体内の血液のほか、比喩的な「情熱や気力」といった意味があり、「舟を編む～私、辞書つくります～」では、辞書に本来載るべきであるのに抜けていた重要な語として登場します。辞書に『血潮』という言葉が欠落していることに気付いた岸辺みどり、その存在の大きさと言葉の持つ意味合いに気づき、辞書を完成させることの重要性を認識するきっかけとなるくだりが最高です。

どちらもNHK オンデマンドでご覧になれます♪

<質問コーナー>

※10月号から学校外の活動で活躍する鳴高生に校長がインタビューして紹介していきます。その第一弾！

【Q】3年 岡田 彪吾さん、どうしてそんなにダンスが得意なんですか！？

【A】3年生にダンスが上手く学校外でも活躍している人がいると聞いて話を聞いてみたところ、校長がイメージしていたはるか斜め上に行く話しが聞けました。ここではその要点だけ紹介します。まず、彪吾(ひゅうご)さんという名前は海外でも呼びやすいようにと名付けられたそうです。その名のとおりに韓国のK-POP界をフィールドに活躍中♪ もともと韓国アイドルを目指し、小学校4年生で西宮市のダンススクールに通ったのがスタートで、現在では大阪市にあるダンススタジオを拠点に数々のK-POPアーティストのバックダンサーとして活躍中です。今年に入っても、1月にNewJeans、7月にBOYNEXTDOORのバックダンサーとして踊るなど、大阪を拠点に活動中です。将来は韓国を拠点にダンス一本でやっていきたいと意欲満々の岡田さん♪

ここでは書き切れなかった活動詳細や岡田さんのインスタアカウントは、校長ブログで紹介していきますので、K-POPやダンスに興味のある方はご覧ください。

【予告】11月号は2年 山出さんを紹介します。

